

支出伝票



年 度	令和6年度	経 理 責任者		代表者	
経費の区分	3 広報・広聴費				
整 理 番 号 (整理区分ごと)	3001				
実施年月日	令和6年4月23日				
支出年月日	令和6年4月23日				
金 額	298,485 円				
支 出 先	デザインエレット				
使 途 内 容 事 業 名	県政レポート作成印刷配布代				
備 考 ※経費の内訳(単価等)・按分率(按分による支出の場合)等を記入 県政レポート40,000部作製 デザイン修正15,000円＋印刷代120,000円＋ポスティング(35,000部他は事務所へ)161,000円＋配送料5,000円＋消費税＝331,100円 振込手数料() 550円 合計331,650円×按分率90%＝298,485円					

※領収書及びその他証拠書類等(政務活動記録票を含む。)を添付し、議長に提出してください。

XXXXXXXXXX
キャッシュサービス
お取扱明細票

ご利用年月日		取扱店番		機番		端末通番	
06-04-23		XXXXXX		55		0343	
銀行番号		店番		口座番号			
XXXXXXXXXX		XXXXXX		XXXXXXXXXX			
万円券		五千円券		二千円券		千円券	
500円		100円		50円		10円	
5円		1円					
お取引区分				お取引金額			
お振込み				¥331,100			
取扱時刻		受付番号		***お取引内残高***			
17:21		0008		*****			
ご案内欄		手数料		利用料		¥0	
¥550							
XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX 様							
ご依頼人 電話 XXXXXXXXXX ムツヨソ クケイリセキニソツヤ ソエタ マサル 様							
振力 振替							

XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

Eletto ^{design}
Natus Vincere
design Elettro

下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

件名	県政レポート
税込請求額	¥331,100 -

■ 明細

[illegible]

■ 振込先

力ナ
〔口座名義〕

■備考



介護ヘルパー 10年の実績 県政報告レポート

そえだ勝^{まさる}

能登半島地震において、お亡くなりになりました方々、被災された方々に対し、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、今号は県民・市民の皆様への被災地への義援金の情報提供(出典:被災各県HP)と、普段備えておくべき備蓄品(出典:NHK HP)について、ご案内いたします。なお、横浜市・川崎市でも各区役所と行政サービスコーナーにて義援金受付、また、それぞれのホームページではクレジットカードによる義援金受付も行っています。横浜・川崎地域もいつ災害にあってもおかしくありません。県民・市民の皆様には義援金のお願ひだけでなく、この機会に普段からの防災への備えを意識して頂ければと存じます。

2024年 能登半島地震に係る災害義援金の受付について

金融機関名	口座名義	口座番号
石川県	北國銀行 県庁支店	石川県令和6年能登半島地震災害義援金 (普通)0028593
	ゆうちょ銀行	石川県令和6年能登半島地震災害義援金 00100-8-452361
富山県	北陸銀行 本店営業部	(普通)6262894
	富山銀行 富山支店	富山県災害義援金 (普通)3044104
	富山第一銀行 ニューセンター支店	日赤富山県支部 支部長 新田八朗 (普通)022823
	北陸銀行 県庁内支店	社会福祉法人富山県共同募金会災害義援金 (普通)4179363
	ゆうちょ銀行	富山県共募令和6年能登半島地震災害義援金 00150-9-605602
新潟県	第四北越銀行県庁支店	新潟県災害対策本部 (普通)5021841
	第四北越銀行白山支店	日本赤十字社新潟県支部 (普通)5050125
		社会福祉法人新潟県共同募金会 (普通)1590791
	大光銀行新潟支店	新潟県災害対策本部 (普通)3570321
		社会福祉法人新潟県共同募金会 (普通)3043002
		新潟県災害対策本部 00190-7-588900
	ゆうちょ銀行	日赤令和6年能登半島地震災害義援金 00150-7-325411
		新潟県共募能登半島地震災害義援金 00130-0-515716

1月22日に、石川県110万円、富山県・新潟県にそれぞれ55万円ずつ寄付しました。

いそべ横浜市議(都筑区)、高戸ともこ川崎市議(宮前区)とともに、給料の一部をコツコツと貯めた半年分、合計220万円の義援金を被災3県に送ることができました。莫大な金額ではないけれども、微力ではありますが、私たちにできる精一杯のことをさせて頂きました。

私もかつての被災地・福島出身ゆえ、被災3県の皆さまに対し、今こそ、その恩返しをせねばと強く感じております。

普段から防災備蓄を心がけましょう。以下、備蓄ベスト9です。

① 水



1人1日、約3リットル。3日分、可能であれば1週間分を用意。水は大人が1人1日約3リットル必要。家族の人数分を掛け算した数が最低限の量。

② 食料



最低でも3日分。食料は通常から食べる物を多めに購入し、消費したら買い足す「ローリングストック法」が有効。

*ごはんは水を加えるだけで食べられる「アルファ化米」を用意すると便利。缶詰、レトルトごはん、ゼリー飲料などの長期保存できる食べ物を。
*乳児がいるご家庭には、乳児用液体ミルクが有効。被災のストレスで母乳が出なくなることがあるためです。粉ミルクだと沸騰したお湯が必要だが、液体ミルクならそのまま使用可能。

③ カセットコンロ、ガスボンベ



電気・ガス等のライフラインが止まる可能性が高いため、即席調理に有効。

④ スニーカー



震災ではガラスなどが割れ、家に破片が散らばるため、けが防止に向けて、リビングや寝室にもスニーカーを用意。震災時は、外から帰宅する場合も、土足での入室が原則

⑤ 充電式の掃除機



部屋に散らばった細かいガラスなどを吸うのに使い、安全確保に有効。充電式ゆえ、停電時も使用可能。または、ほうきやちりとりも有効。

⑥ 携帯ラジオ



最新の災害情報を得るのに必要なだけでなく、給水車などライフラインに関する情報も入手可能。

⑦ 懐中電灯・ランタン・ヘッドライト



電気が消えると暗くなり、ケガをする危険あり。手が塞がらないヘッドライトを家族の人数分を用意。

⑧ 携帯トイレ



停電と断水になると水洗トイレは使用不能。とはいえ、水分を控え、トイレを我慢し続けると体調を崩して命の危険も。そこで「携帯トイレ」です。大きく、凝固剤タイプと吸収シートタイプがあり、目安は1人1日5回、1週間分で35回分の備蓄が必要。

⑨ 水のいらないシャンプー



介護用品として知られていますが、災害時にも有効。水を使わなくても髪をスッキリでき、ニオイを抑えることができるのでストレス軽減にも。

以上ですが、もっと備えておくべきものはありますが、最低でもこの「ベストナイン」を備えておけば、とりあえずは安心です。より詳しくお知りになりたい方は、下記、そえだ勝事務所までお問い合わせください。義援金の送付先含め、より詳細についてお知らせさせていただきます。

そえだ勝 Profile

1977年福島県生まれ／明治大学公共政策大学院（公共政策学修士）／元横浜市長中田宏秘書／セントケア株式会社（介護福祉士・ボランティア期間を含め12年間の訪問介護員）／松下政経塾（第30期生）／2011年川崎市議会議員初当選（宮前区）（3期）／2022年『持続可能な介護保険制度の考え方』を出版／2023年神奈川県議会議員初当選（宮前区）
家族：妻・長女・長男 趣味：野球・剣道・登山・茶道（裏千家）

健康福祉委員、文教委員等を歴任、逆介護保険（健幸福寿プロジェクト）を提案・実施（HPでマンガ解説中）、児童虐待防止条例を議員立法で提案・実施

介護現場職10年、議員歴10年だからわかった！
持続可能な介護保険制度の考え方
「逆介護保険」政策提案者として、出版いたしました。
現場から論を組んだ、画期的な介護保険法改正案です。

好評
発売中



Amazonでも
星4.9の高評価！



× 随時更新中！
Facebookでも情報発信中！

「逆・介護保険」のマンガをはじめ、
政策実績・活動実績はホームページへ



お気軽にお声がけください

逆介護保険の詳細は、ホームページをご覧ください。
また、介護相談以外にも、なんでもお声がけください。

TEL/FAX : 044-862-8677 MAIL ▶ soeda@chorus.ocn.ne.jp

発行 そえだ勝事務所 〒216-0007 川崎市宮前区小台2-6-2 ラポール宮前平2F